

神崎市地域経済動向調査(12月号)

■全国の景況

◇月例経済報告(H29.11月号より)

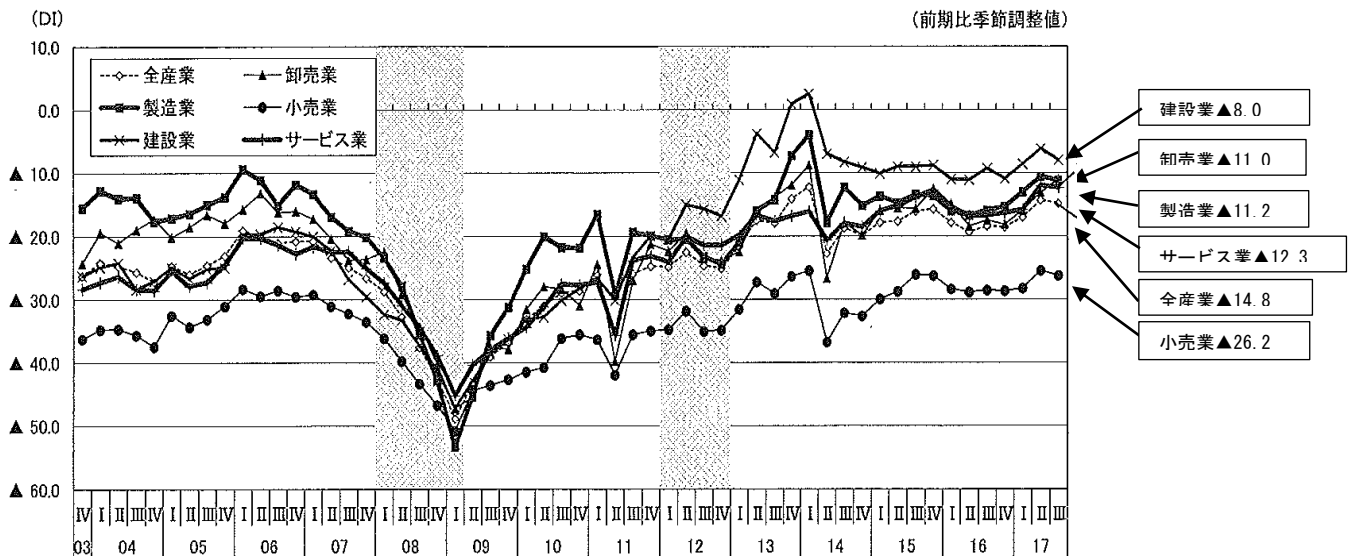
『景気は、緩やかな回復基調が続いている』

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

◇中小企業景況調査(2017年7~9月期より)

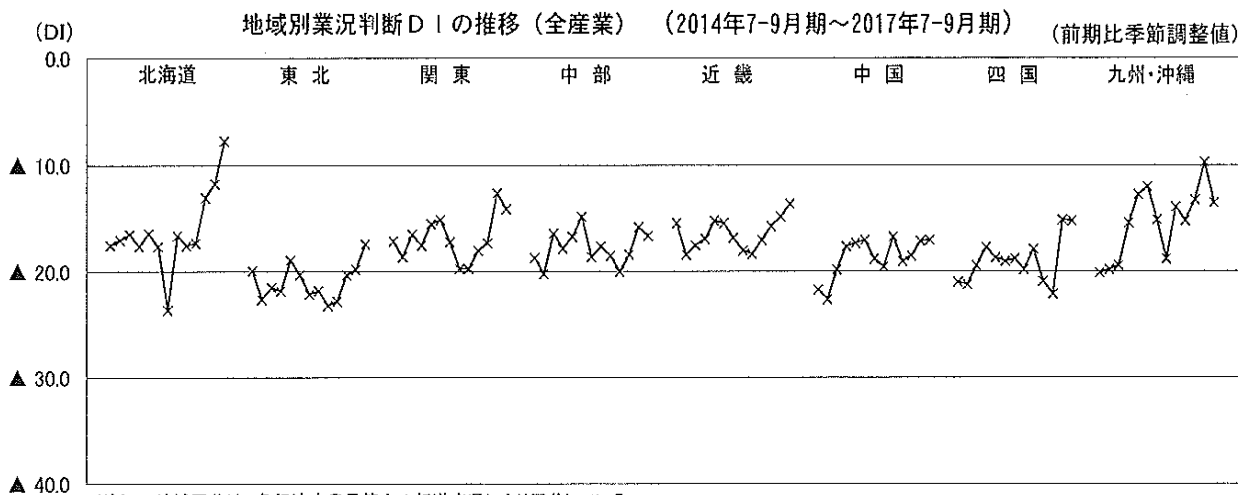
『中小企業の業況は、一部業種に一服感がみられるものの、基調としては、緩やかに改善している』

<中小企業の業況判断(2017年7~9月期)>



- ・2017年7~9月期の全産業業況判断DI値は、▲14.8(前期より0.5ポイント減)で3期ぶりに低下した。業種毎には、卸売業がポイント増となった以外は、各業種で前期よりポイント減少となっている。
- ・なお、業種別では、小売業が最も厳しい業況判断となっている。

<地域別業況判断(2017年7~9月期)>



(注) 1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。
 2. 関東には新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には石川、富山の各県、近畿には福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。
 3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合-前期に比べて「悪化した」企業の割合

・北海道、東北など4地域でマイナス幅が縮小し、九州・沖縄など4地域でマイナス幅が拡大している。

■佐賀県の景況

◇佐賀県内経済情勢報告 (H29.10)

『県内経済は緩やかに持ち直している』

- ・個人消費は、持ち直しつつある。
- ・生産活動は、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・設備投資は、29年度は前年度を上回る見通しとなっている。
- ・企業収益は、29年度は増益見通しとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。
- ・公共事業は、前年度を上回っている。

◇佐賀県主要経済統計速報 (H29.11 より)

佐賀県主要経済統計速報 8月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(9月)は、全店販売額が2ヵ月連続で上回った。
乗用車新規登録台数(10月)は、12ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(9月)は、2ヵ月振りに下回った。
公共工事前払保証請負金額(7月)は、4ヵ月振りに上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(9月)は、3ヵ月連続で上回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(9月)は、31ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産(10月)の件数は3件減で、金額は4ヵ月振りに上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(10月)は、62ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

項目		対象月	数 値	単 位	対前年同月比・ 増 減 分		前月比・増減分			
県内 需要	個人消費	百貨店・スーパー 販売額	全店 販売額	9月	48億52百万	円	1.1%		△13.0%	
					—	円	△0.7%		—	—
	住宅建設	新設住宅 着工戸数	9月	505	戸	△3.3%		35.0%		
				公共工事	公共工事前払 保証請負金額	10月	77億23百万	円	16.8%	
生産	鉱工業生産指数(季節調整済)		9月	91.7		0.5%		△2.6%		
雇用	雇用情勢：有効求人倍率・就業地別(〃)		9月	1.54	倍	0.21 ポイント		0.04 ポイント		
企業 倒産	企業倒産 状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	10月	8	件	5件		6件		
		〃(累計)		27	件	△8件		—	—	
		負債金額(当月)		7億8千万	円	6億6千万		7億46百万		
		〃(累計)		60億56百万	円	17億98百万		—	—	
物価	消費者物価指数(佐賀市)		9月	100.8		0.4%		0.2%		
金融	金融機関(銀行)の貸出残高		10月	1兆3,067億	円	2.6%		△0.4%		
景気 動向 指数	先行指数		8月	70.0	%	—	—	—	—	
	一致指数			71.4	%	—	—	—	—	
	遅行指数			41.7	%	—	—	—	—	

■神埼市の景況

『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

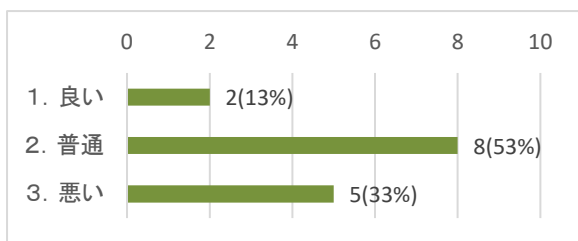
◇中小企業景況調査(2017年7～9月期より)

中小企業景況調査より、平成28年4～6月期から平成29年7～9月の業況判断状況は以下のとおりである。

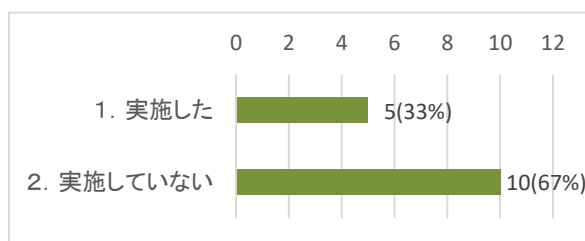
	H28.4～6月期	H28.7～9月期	H28.10～12月期	H29.1～3月期	H29.4～6月期	H29.7～9月期
全国	▲19.5	▲18.2	▲18.7	▲17.0	▲14.3	▲14.8
佐賀県	▲20.1	▲15.9	▲15.5	▲15.4	▲15.5	▲22.2
神埼市	-	-	-	▲26.7	6.3	▲20.0

- ・2017年7～9月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲22.2(前期差6,7ポイント減)で、減となっている。
- ・佐賀県は全国と比較して、7.4ポイント低くなっている。
- ・神埼市は、15社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DIは▲20.0で、全国値より低く、佐賀県値より高い値となっている。
- ・神埼市15社分の現在の景況感、設備投資状況は以下のとおりである。

<現在の景況感>



<設備投資 今季 平成29年7～9月>



<経営上の課題>

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	従業員の確保難	官公需要の停滞	民間需要の停滞
	神埼市商工会	従業員の確保難	下請業者の確保難	熟練技術者の確保難
製造業	全国	需要の停滞	従業員の確保難	生産設備の不足・老朽化
	神埼市商工会	製品ニーズの変化への対応	需要の停滞	原材料価格の上昇
小売業	全国	大・中型店の進出による競争の激化	需要の停滞	購買力の他地域への流出
	神埼市商工会	従業員の確保難	需要の停滞	大型店・中型店の進出による競争の激化
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	神埼市商工会	従業員の確保難	利用料金の低下・上昇難	利用者ニーズの変化への対応

- ・中小企業景況調査で、全国で約8,000件、神埼市商工会では15件が対象となっている。神埼市においては、建設業、小売業、サービス業は、従業員の確保難が最重要課題となっている。製造業は、製品ニーズの変化への対応が最重要課題となっている。

◇保証月報(佐賀県信用保証協会より)

神埼市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	H28.11				H29.11			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神崎市	3	36,300	350	2,873,750	9	134,000	335	2,669,214
佐賀県	189	1,443,070	10,852	83,278,830	173	1,875,846	10,546	80,079,203

・平成 29 年 11 月の神埼市内中小企業の保証承諾件数は 9 件で、金額は 134,000 千円で、前年同月比では増加となっている。

・保証債務残高は、佐賀県全体、神崎市とも、減少となっている。